

# 平成31年度訓子府町社会福祉協議会事業計画

## I. 社会福祉事業関係

### 1. 事業方針

近年の地域社会は、少子高齢化の進行や人口減少を背景に生活環境が大きく変容してきております。高齢者世帯の増加や核家族化に伴い、地域におけるつながりも希薄化が進み、ひきこもりなど社会的孤立の問題、児童・高齢者の虐待の問題などが顕在化してきており、支援を必要とする方々の多様化、複雑化した生活課題、福祉課題などが生じております。

こうした状況の中、地域福祉の推進という社会福祉協議会の理念に基づき、住民主体を基本として「住民誰もが、健やかで安心して暮らし続けることのできる地域社会の実現」を目指して、町内会・実践会の皆様のご支援ご協力をいただきながら、行政、民生委員、ボランティア、各関係機関・団体等と連携し、地域に密着した福祉活動の推進に努めてまいります。

### 2. 事業計画

#### (1) 法人運営

- ①自主財源の確保
  - ・住民の社協の事業に対する理解を得、会員加入率の向上を図る。
- ②組織体制の確保
  - ・執行機関である理事会、議決機関である評議員会を開催し円滑な運営及び機能強化を図る。
- ③監事監査を年4回、四半期ごとに実施
- ④役員研修の実施
  - ・社協における運営のあり方、果たすべき役割等についての研修。
- ⑤職員の資質向上のため各種研修会等へ職員派遣
- ⑥広報事業
  - ・社協事業を広く町民に理解してもらうために、社協だより（年4回）の発行及びホームページにより周知を図る。
  - ・ボランティアセンター事業推進パンフレットの発行。
- ⑦関係機関との連携

#### (2) 地域福祉事業

- ①「ふれあい昼食会」の開催
  - 〔ボランティア協力会員の手作り料理による昼食会〕
  - ・毎月一回、70歳以上の単身高齢者を招待し、閉じこもり防止や生きがいづくりの場として、食事と歓談を楽しむ交流会。
  - ・希望者には社協職員が送迎。
  - ・余興として町内の各種趣味のサークルに出演を依頼。
- ②まごころ弁当配付事業の実施
  - ・ふれあい昼食会の開催に合わせて、訪問介護利用者へ、協力会員手作りの弁当を宅配。
- ③小地域ネットワーク事業の推進

＊地域の福祉課題について、住民主体により解決を図ると共に地域のつながりを構築する。

- ・町内会、実践会、ボランティア、老人クラブ等への支援及び助成。
- ・見守り・訪問活動[話し相手・声かけ・安否確認]
- ・交流事業。
- ・民生委員児童委員協議会との連携及び「ふれあいチーム推進事業」への支援。

④生活支援体制整備事業の受託

- ・生活支援コーディネーターの配置。
- ・地域づくりに関する啓蒙・啓発。
- ・生活支援サポーターの養成と運用の仕組みづくり。
- ・指定の講習を受けたサポーターが、家事を必要とする世帯を訪問し支援する事業で、支援を受ける側も30分100円のチケットを購入し、サポーターも30分100円のスタンプが付与される住民同士の支え合い事業。
- ・地域のサロン活動の推進を図る。

⑤日常生活自立支援事業の実施（道社協受託事業）

- ・認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき支援。

⑥心配ごとや悩みごとに対しての、相談窓口を開設。

### （３）ボランティア活動推進事業

①ボランティアセンターの運営

- ・センター登録者の増加に努め、ボランティア活動の活性化を図る。
- ・適切なコーディネート並びにボランティア保険加入促進。
- ・町広報（折込チラシ）・社協だより等により情報発信。
- ・ボランティア育成のための講習会、講座を開催。
- ・町内小・中学校「福祉の学習」に協力。
- ・ボランティア研修会等へ参加。
- ・オホーツク圏市民活動ボランティアフォーラム参加。

②個人及びボランティア団体との連携・支援。

③各種ボランティア活動への支援。

④町内各学校におけるボランティア活動への助成。

### （４）共同募金配分金事業

①共同募金委員会の事務局を担当し、事業活動の推進

②共同募金委員会及び理事会の開催

③赤い羽根共同募金運動の実施

④共同募金配分金事業

- ・広報活動。
- ・地域福祉活動事業費。
- ・ボランティアセンター運営費。
- ・児童・青少年活動（子ども会育成連絡協議会へ活動費の助成。）
- ・母子・父子福祉費（新生児へ誕生証書贈呈。）
- ・老人福祉活動費助成。
- ・身体障がい者福祉活動費助成。

- ・遺族会活動費助成。
- ・社会を明るくする運動推進委員会事業費助成。
- ・民生委員児童委員協議会事業（クリスマス会）助成。
- ⑤歳末たすけあい運動の実施
  - ・歳末まごころプレゼント事業の実施。  
（町民からの募金を“ひとり親世帯”及び“75歳以上の単身世帯”に「まごころプレゼント」として、地区担当民生委員により対象者宅を訪問し見舞金を贈呈。）

#### （５）身体障がい者福祉事業

- ①障がい者外出支援サービス事業の実施（町受託事業）
- ②身体障害者福祉協会訓子府分会の事務局を担当し、活動費の助成及び事業活動を支援

#### （６）高齢者福祉事業

- ①声かけ郵便事業の実施
  - ・各学校の児童・生徒及びボランティアの協力を仰ぎ、70歳以上の単身高齢者へ手紙を書き、配達時に郵便局員による「声かけ」、「安否確認」。
- ②夜光反射材付の杖を希望者へ無償で配付
- ③老人クラブ連合会の事務局を担当し、活動費の助成及び事業活動を支援

#### （７）その他関係福祉団体との連携

- ①北見地区保護司会訓子府町分区の事務局を担当し、事業活動を支援
  - ・社会を明るくする運動推進委員会の活動支援。
- ②釧路更生保護協会訓子府町分会の事務局を担当し、事業活動を支援
- ③訓子府町遺族会の事務局を担当し、活動費の助成及び事業活動を支援

#### （８）福祉資金貸付事業

- ①生活資金等を一時的に必要とする世帯に貸付
- ②負傷又は疾病の療養に必要な経費、及びその療養期間中に生計を維持するための医療資金貸付
- ③道社協資金貸付制度（生活福祉資金等民生委員と連携）の利用促進、及び借入事務

#### （９）その他の事業

- ①日本赤十字社訓子府町分区の事務局を担当し、赤十字活動を推進
- ②高齢者等災害弱者の救援活動について、各関係機関等との連携
- ③災害被災者への見舞金贈呈
- ④葬儀用供花ポスターの頒布
- ⑤収集活動（リングプル等）の実施
- ⑥物品貸与事業
  - ・歩行困難な方への、イベント参加や小旅行、短期間の家庭介護や入院等に、車イスの無償貸し出し。
  - ・レクリエーション用具等の貸出し。

## Ⅱ．訪問介護事業

### 1．事業方針

介護保険制度等によるケアプランに沿った訪問介護並びに、障害者総合支援法による障がい者・障がい児の訪問介護を行い、自立した日常生活を営むことができるよう支援します。また、介護保険認定対象外の方や、障害者総合支援法及び町が行うホームヘルプサービス（受託事業）を受けることができない高齢者や障がい者等に対して、利用者の実費負担による社協独自の事業を継続して実施し、より質の高いサービスの提供を心がけ、利用者、ご家族皆様に支持される事業所となるよう努めてまいります。

### 2．事業項目

- （１）身体介護業務（入浴・排泄・食事・通院介護等）
- （２）生活援助業務（調理・掃除・洗濯等）
- （３）社協の訪問介護事業『わが家で安心 訪問介護サービス事業』の実施（身体介護・生活援助・その他必要な支援）
- （４）訓子府町在宅福祉サービス「ホームヘルプサービス」の受託
- （５）声かけ訪問の実施
  - ①安否確認
  - ②福祉ニーズを的確に把握し、サービスの向上及び利用者の拡大を図る
- （６）生活情報等の提供
- （７）生活上の相談・助言
- （８）家族との連絡調整
- （９）事業所広報パンフレットの発行・配付
- （10）資質向上のため各種研修会等へ職員派遣

### Ⅲ. 居宅介護支援事業関係

#### 1. 事業方針

介護支援専門員は、要介護状態の利用者が可能な限りその居宅において、自立した生活を営むことができるよう配慮し、利用者の選択に基づき、多様な介護資源から適切な保健医療サービス及び福祉サービスが、総合的かつ効果的に提供されるよう支援します。

事業の実施に当たっては、関係市町村、地域包括支援センターをはじめ、指定居宅サービス事業者、他の居宅介護支援事業者及び介護保険施設等の保健・医療・福祉サービス機関との連携を図るとともに、利用者に提供される居宅サービス等が特定の種類、又は特定のサービス事業者に偏ることのないよう、公正中立な業務に努めてまいります。

#### 2. 事業項目

- (1) 要介護・要支援者の心身の状況及び家族状況等の実態把握
- (2) 介護相談と訪問指導・助言
- (3) 介護保険居宅サービス計画の作成
- (4) 介護保険認定調査
- (5) 住宅改修の相談
- (6) サービス利用の手続き代行、利用調整
- (7) 福祉用具の展示・選定、使用方法の指導・助言
- (8) 町の在宅福祉サービス（下記）に係わる情報収集業務及び申請代行
  - ①配食サービス
  - ②除雪サービス
  - ③愛の声かけ訪問
  - ④緊急通報装置の貸与
  - ⑤訪問サービス
  - ⑥移送サービス
  - ⑦障害者外出支援サービス
  - ⑧ショートステイ
  - ⑨ホームヘルプサービス
  - ⑩住宅改修費の助成
- (9) 居宅介護支援専門員の現任研修及び各種会議・研修会等へ職員派遣